



春風が心地よいこの頃、お忙しい日々をお過ごしと存じます。本誌「The看護」は発刊2年目に突入いたしました。新年度第1号は新人の方も含めて「認定看護師」をもっと活用して頂きたく、下記の内容といたしました。また、今後認定看護師を目指したい方の一助となれば幸いです。本年度も宜しくお願いします。

「認定看護師」て、なーに？

分野	当院在籍
救急看護	●
皮膚・排泄ケア	●
集中ケア	●
緩和ケア	●
がん化学療法看護	●
がん性疼痛看護	●
訪問看護	
感染管理	●
糖尿病看護	
不妊症看護	
新生児集中ケア	
透析看護	
手術看護	
乳がん看護	
摂食・嚥下障害看護	
小児救急看護	
認知症看護	
脳卒中リハビリテーション看護	●
がん放射線療法看護	
慢性呼吸器疾患看護	
慢性心不全看護	

◎認定看護師とは？

日本看護協会が定める審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した技術と知識を有することが認められた者をいいます。

◎認定看護師の役割は？

- 1.【実践】-個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する
- 2.【指導】-看護実践を通して看護職に対し指導を行う
- 3.【相談】-看護職に対しコンサルテーションを行う

◎認定看護師になるには？

1. 看護師免許取得後、実務研修が通算5年以上あること（うち3年以上は認定看護分野の実務）
2. 各分野の認定看護師教育機関に合格
3. 認定看護師教育機関（課程6か月・615時間以上）を修了
4. 認定審査に合格

当院には左記の21分野のうち、7分野8名が在籍しています。その他にも、皆さんの部署に該当する分野があるのではないのでしょうか？

アナフィラキシー

春を迎え暖かい毎日をご過ごせるようになってきましたが、花粉症の方のご苦労をお察します。私も花粉症で鼻水・目のかゆみ、ひどい時には蕁麻疹に至ります。この症状は、からだを守るための免疫システムの一つで、体内に入ってきた異物に対抗しようとする反応です。

このアレルギー症状を引き起こす原因物質（アレルゲン）は食べ物や薬など、何万種類もあるといわれています。アレルギー症状がひどくなると、嘔吐・下痢や呼吸苦さらにはショックに至ります。この全身症状のことをアナフィラキシーといいます。



アナフィラキシーの重篤な状態では、アレルゲンが薬物や造影剤などでは5分、蜂などの昆虫刺傷で15分、食物で30分以内に死に至るともいわれています。

アナフィラキシーショックの初期治療はアドレナリンの筋肉・皮下注射と細胞外液（生食・ソリアセトF）の急速投与です。救急カードに常備していますので、ご確認ください。



せん妄って？

脳の機能失調から起こり、時間・場所・人物などが分からなくなる室見当識、幻覚、幻聴、錯覚など認知・知覚障害、妄想などの判断や思考・情緒の混乱、暴力を含む異常行動を伴った意識障害の型とされています。

せん妄発生因子は以下のようなものがあります。

直接因子	脳器質性疾患(脳出血・脳梗塞) 脳に影響する身体疾患 治療薬による副作用や中毒物質による影響
準備因子	高齢、認知症
促進因子	環境(感覚遮断、過剰な刺激) 疼痛、安静に伴う身体的ストレス 心理的ストレス

スタッフ間で「せん妄」に関する共通認識を持ち、まずは促進因子を取り除いていくことが、大切となります。ちなみに、せん妄評価で良く用いられるものとしては、CAM-ICUやICDSCといったものがあります。